

令5 高等学校商業 (6枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の1～8について適切なものを、次のア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 経営資源配分の優先順位とそのバランスを決定するための分析手法を何というか。
ア 時系列分析 イ PPM分析 ウ ロジックツリー エ KJ法
- 相手のことを深く思いやる気持ちや、相手のことを知り、配慮すること、心から思いやって接することを何というか。
ア クロージング イ ラテラルシンキング ウ MECE エ ホスピタリティ
- 「簿記」を英語で何というか。
ア journal イ bookkeeping ウ posting エ account
- 決定する権限のある上司に許可を求めるときの社内文書を何というか。
ア 請求書 イ 依頼書 ウ 起案書 エ 報告書
- 暗号化した情報をもとの情報に戻すことを何というか。
ア 復号 イ VPN ウ 公開鍵 エ 圧縮
- 顧客による一括の支払いではなく、顧客への継続的な課金を通じて収益を生み出すビジネス・モデルを何というか。
ア サブスクリプション イ ライセンスモデル ウ 消耗品モデル エ 広告モデル
- 地域独自の魅力を掘り起こし、内外の人々に向けてわかりやすく伝える活動を何というか。
ア インバウンド イ リノベーション ウ 地域ブランディング エ オーバーツーリズム
- 経営者が財務諸表において主張していることがらを何というか。
ア 監査計画 イ 証憑書類 ウ 監査リスク エ アサーション

II 次の資料にもとづいて、①～③の比率を求めなさい。ただし、パーセントの小数第1位を四捨五入すること。

- ① A社の自己資本比率 ② B社の流動比率 ③ C社の負債比率

資料

(単位：円)

	A社	B社	C社
流動資産	9,000,000	6,000,000	5,600,000
固定資産	7,000,000	6,000,000	3,400,000
流動負債	3,600,000	2,400,000	1,600,000
固定負債	4,400,000	1,600,000	2,400,000
純資産(自己資本)	8,000,000	8,000,000	5,000,000

III 次の問いに答えなさい。

- 1 次の資料は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領の「商業科」の目標である。資料中の(①)～(④)に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

資料

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ(①)の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 商業の各分野について体系的・(②)的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ビジネスに関する(③)を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ(④)に取り組む態度を養う。

- 2 次の資料は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領解説商業編の「簿記」の「第2 内容とその取扱い」の一部である。資料中の(①)、(②)に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

資料

(内容を取り扱う際の配慮事項)

ア 企業会計に関する法規と基準の改正などに随時対応して指導すること。また、(①)に即した例題を取り入れた学習活動及び取引の記録と財務諸表の作成の方法について考察や(②)を行う学習活動を通して、適正な取引の記録と財務諸表の作成ができるようにすること。

- 3 次の資料は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領解説商業編の「課題研究」の4つの指導項目である。資料中の(①)～(④)に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

資料

ア 調査、研究、(①) イ (②)制作 ウ (③)等における実習 エ (④)の取得

令5 高等学校商業 (6枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IV 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

店舗設計とは、どの商品をどこにどのように置いて、どのように販売するのかを定めることである。例えば、コンビニエンスストアの(①)を行うときは、(a)購入率が高い商品であるドリンクを一番奥に配置し、顧客の(②)が長くなるように設定する。レジの近くでは(③)の対象となりやすいあめやガムを配置し、セルフサービスで販売を行う。

また、販売員には、商品に関する幅広い(④)が要求される。具体的には商品の種類、品質、価格など、商品が持つ本来の働きである(⑤)と、その働きがどれくらいの水準で発揮されるのかという度合いである(⑥)、(b)商品の形状や色などの(④)が必要である。

1 文中の(①)～(⑥)にあてはまる適切な語句を次のア～シからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ番号には同じ符号が入る。

ア 計画購買	イ ストア-ロイヤルティ	ウ 知識	エ 性能	オ 対面	カ 動線
キ 配線	ク フロア-マネジメント	ケ 非計画購買	コ 機能	サ 無知	シ 製品

2 下線部(a)、(b)を何というか、カタカナで書きなさい。

V 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

ビジネスにおいて、外部環境や内部環境のさまざまな情報を整理するための考え方の枠組みを(①)という。

例えば、コインランドリー店を開業しようと考えたとき、出店予定の地域にはコインランドリー店が何店舗あるのか、(a)他に競合するビジネスとしてどのような生活関連サービス業がありえるのか(競合)、この地域にはどのような顧客がどれだけいると想定されるか(顧客)、自分のコインランドリー店はどのような特色を打ち出すべきなのか(自社)などを検討する。

また、コインランドリー店が成功するためのさまざまな要因について、事業評価や現状分析をおこない、さらに調査を進め検討する。例えば、(b)強み・弱み・機会・脅威の4つの要因から分析して、経営戦略を策定する方法を使って練り直すことにした。具体的には、コインランドリー店を出店予定のテナントビルには理髪店があり、(c)そこに自店のチラシを置かせてもらうことで、理髪店の待ち時間に利用してもらい顧客を取り込むことができる。また、(d)料金割引のチケットを配布することや、24時間営業とすることで、いつでも立ち寄れる店にできると考えた。一方で、(e)各家庭に高性能で安価な乾燥機付き洗濯機がすでに普及している。さらに、(f)店舗の面積が狭く、あまり多くの顧客が来店できないことが判明した。そこで、この4つの要因を組み合わせる経営戦略をさらに練り直すことにした。

1 文中の(①)にあてはまる適切な語句をカタカナで書きなさい。

2 下線部(a)について、調査・分析をする際、3つを軸に情報を考える手法として適切な語句を書きなさい。

3 下線部(b)を何というか、書きなさい。

4 下線部(c)～(f)の内容について、あてはまるものを次のア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 強み	イ 弱み	ウ 機会	エ 脅威
------	------	------	------

VI 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

一般の不法行為については、民法第709条で「故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。」と規定されている。つまり、同法は、「他人に損害を与えた場合でも、故意または過失がなければ責任なし。」という考え方を原則としている。この考え方からすると、製品事故などの被害が生じて、被害者は救われない。そこで、製品事故があった場合、(a)「行為者に故意または過失がなくても、他人に損害を与えた場合には責任がある。」と考えられるようになった。この考え方を(①)というが、現在では、この考え方に依拠したいくつかの特別法が制定され、効力を発揮している。

なお、ある行為者によって被害が発生したが、その被害者にも過失があるという場合がある。例えば、夜間、無灯火で自転車に乗っていて自動車にはねられたという事案である。このような場合には、(b)損害賠償の算定にあたり、加害者に損害額の全部を負担させるのは不公平であるので、その過失の重さが考慮され、被害者が受け取れる損害賠償の額は減額されることになる。

1 下線部(a)の考え方にもとづいて、制定された法律を漢字6字で書きなさい。

2 下線部(a)について、基礎となる考え方として適切なものを次のア～ウから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 報償責任と危険責任	イ 危険責任と挙証責任	ウ 報償責任と挙証責任
-------------	-------------	-------------

3 文中の(①)にあてはまる適切な語句を次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 全体責任	イ 無過失責任	ウ 連帯責任	エ 過失責任
--------	---------	--------	--------

4 下線部(b)を何というか、漢字で書きなさい。

令5 高等学校商業 (6枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅶ 次の流れ図は、S社がインターネット販売した第1図の入力データを用い、処理条件にしたがって第2図の実行結果のように商品別売上金額一覧表をディスプレイに表示する流れ図である。流れ図中の①～⑧にあてはまる内容を書きなさい。

<流れ図>

(第1図) 入力データ

受付番号 (Uban)	商品コード (Code)	数量 (Su)
×××	××××	×××

(第2図) 実行結果

(商品別売上金額一覧表)				
(商品コード)	(数量計)	(単価)	(売上金額計)	(備考)
MH40	220	432	95,040	↑
EM30	52	324	16,848	↓
}	}	}	}	}
HH20	159	216	34,344	↓
(平均)	172			

処理条件

- 第1図の商品コードは10種類である。
- 配列 Cd に商品コードを、配列 Tan に単価を記憶する。
なお、Cd と Tan の添字は対応している。

配列

Cd	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
		MH40	EM30	～	AH10	HH20
Tan	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
		432	324	～	108	216

- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

商品コードをもとに配列 Cd を探索し、配列 Ssu に数量を集計する。なお、Ssu (0) には総合計を求める。また、Ssu の添字は Cd の添字と対応している。

配列

Ssu	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
				～		

(総合計)

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。

・平均を次の計算式で求める。

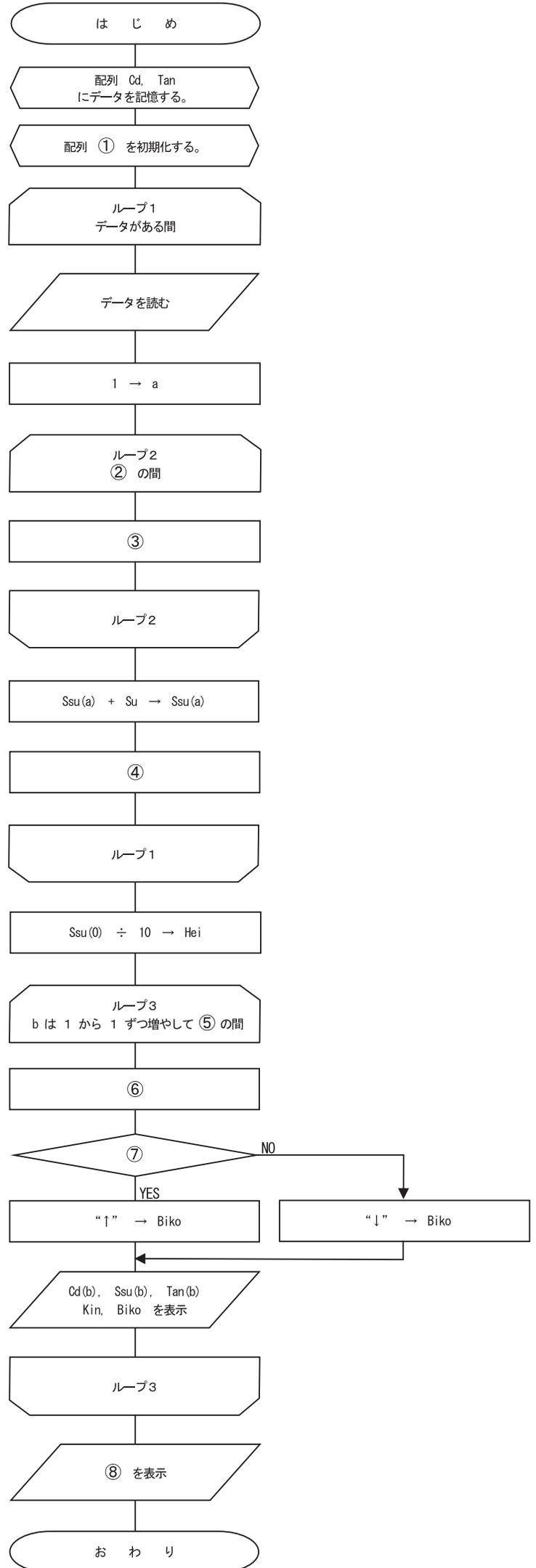
$$\text{平均} = \text{数量の総合計} \div 10$$

・商品ごとに売上金額計を次の計算式で求め、商品コードから備考までを第2図のように表示する。なお、備考は数量計が平均より大きい場合は↑、平均以下の場合は↓を表示する。

$$\text{売上金額計} = \text{数量計} \times \text{単価}$$

・平均を第2図のように表示する。

- データにエラーはないものとする。



令5 高等学校商業 (6枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VIII 次のA製品の資料によって、①月末仕掛品原価、②材料消費数量差異、③作業時間差異、④予算差異、⑤能率差異、⑥操業度差異を求めなさい。また、解答欄の()の中に不利差異の場合は**不利**、有利差異の場合は**有利**を書きなさい。なお、製造間接費の分析は公式法変動予算(3分法)により、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

資料

(1) 標準原価カード

A製品 標準原価カード			
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥500	2 kg	¥1,000
	標準賃率	標準直接作業時間	
直接労務費	¥500	3時間	¥1,500
	標準配賦率	標準直接作業時間	
製造間接費	¥400	3時間	¥1,200
	製品1個あたりの標準原価		¥3,700

(2) 製造間接費予算

月間の基準操業度(直接作業時間)	6,300時間
月間の製造間接費予算額	¥2,520,000
(変動比率 ¥100 固定費予算額 ¥1,890,000)	

(3) 生産データ

月初仕掛品	100個	(加工進捗度 40%)
当月投入	2,100個	
合計	2,200個	
月末仕掛品	200個	(加工進捗度 50%)
完成品	2,000個	

(4) 当月製造費用実際発生額

直接材料費実際発生額	¥2,116,500
(実際単価 ¥510 実際消費数量 4,150kg)	
直接労務費実際発生額	¥3,162,000
(実際賃率 ¥510 実際直接作業時間 6,200時間)	
製造間接費実際発生額	¥2,350,000

IX 飲食業チェーンを展開するB社では、兵庫支店に関する次の資料にもとづいて、兵庫支店の営業計画を分析することにした。あとの問いに答えなさい。

資料

(単位:円)

販売(客)単価	2,400
食材費(客1人あたりの変動費)	840
店長給料(固定費・月間)	500,000
アルバイト給料(客1人あたり変動費)	600
減価償却費(固定費・月間)	380,000
その他の費用(固定費・月間)	560,000

- 1 月間固定費の合計額を求めなさい。
- 2 来客数が1,800人のときの変動費合計額を求めなさい。
- 3 来客数が1,800人のときの営業利益を求めなさい。
- 4 貢献利益率(売上高に対する貢献利益の割合)を求めなさい。ただし、パーセントの小数第1位を四捨五入すること。
- 5 損益分岐点の売上高を求めなさい。

令5 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち5)

総計		

I	1		2		3	
	4		5		6	
	7		8			

I		

II	①	%	②	%	③	%
----	---	---	---	---	---	---

II		

III	1	①		②		③	
		④					
	2	①		②			
		①		②		③	
	3	①		②		③	
		④					

III		

IV	1	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
	2	(a)		(b)			

IV		

V	1		2		
		3			
	4	(c)		(d)	
		(e)		(f)	

V		

VI	1		3	
	2			
	4			

VI		

令5 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち6)

VII	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	

VII		

VIII	①	¥		②	¥	(¥)		
	③	¥	(¥)	④	¥	(¥)
	⑤	¥	(¥)	⑥	¥	(¥)

VIII		

IX	1	¥	2	¥
	3	¥	4	%
	5	¥		

IX		

令5 高等学校商業 模範解答

総計		
200		

I	1	イ	2	エ	3	イ
	4	ウ	5	ア	6	ア
	7	ウ	8	エ		

I		
16		

II	①	50 %	②	250 %	③	80 %
----	---	------	---	-------	---	------

II		
12		

III	1	①	経済社会	②	系統	③	課題	
		④	協働的					
	2	①	実務	②	討論			
		3	①	実験	②	作品	③	産業現場
	④		職業資格					

III		
30		

IV	1	①	ク	②	カ	③	ケ
		④	ウ	⑤	コ	⑥	エ
	2	(a)	パワーカテゴリー	(b)	デザイン		

IV		
18		

V	1	フレームワーク	2	3C分析				
	3	SWOT分析						
	4	(c)	ウ	(d)	ア			
		(e)	エ	(f)	イ			

V		
21		

VI	1	製造物責任法		
	2	ア	3	イ
	4	過失相殺		

VI		
11		

令 5 高等学校商業 模範解答

VII	①	Ssu	②	$Cd(a) \neq Code$
	③	$a + 1 \rightarrow a$	④	$Ssu(0) + Su \rightarrow Ssu(0)$
	⑤	$b \leq 10$	⑥	$Ssu(b) \times Tan(b) \rightarrow Kin$
	⑦	$Ssu(b) > Hei$	⑧	Hei

VII		
4 8		

VIII	①	¥ 470,000	②	¥ 25,000 (有利)
	③	¥ 10,000 (不利)	④	¥ 160,000 (有利)
	⑤	¥ 8,000 (不利)	⑥	¥ 30,000 (不利)

VIII		
2 4		

IX	1	¥ 1,440,000	2	¥ 2,592,000
	3	¥ 288,000	4	40 %
	5	¥ 3,600,000		

IX		
2 0		